

駅周辺活性化

中心市街地街並み整備は

賑わいの創出や活性化を推進



中村 忠靖 議員

問 意見交換会の内容と活性化に向けた考えは。

商工農林課長 2月の意見交換会では、地域の交流の場の創出やイベント、防災面での活用などについて意見が出された。



取り壊された旧兒玉邸（鉄の展示館北側）

今後は賑わいによる波及効果で、地域経済の活性化につなげられるよう、利活用方法を検討していきたい。

問 坂城駅周辺のイベント開催と町内各施設との連携の状況は。

商工農林課長 昨年5月開催の「坂城駅前葡萄酒祭り」と、同時期開催の「第18回ばら祭り」のこのコラボレーションにより、ワインとばらの両方を楽しむため、駅とばら祭りを会場を無料シャトルバスで結んだ。また、ばら祭り期間中、鉄の展示館・び

んぐし湯さん館の入場割引券の配布とスタンプラリーを実施し、町内の各施設や店舗との連携に取り組み、相乗効果を高めることができた。

防災・減災対策について

問 毎年実施の町総合防災訓練について、他の季節や夜間実施の考えは。

町長 町総合防災訓練において、様々な場面を想定した訓練内容を研究し、より実効性の高い訓練にしていきたい。



中嶋 登 議員

問 井戸水を飲んだことがある50歳以上の約9割の方にはピロリ菌がいる、高齢に伴い胃がんになると言われている。国の医療費を抑制するためにも、町の集団健診でピロリ菌検査を行うべきであるが、町の考えは。

保健センター所長 ピロリ菌検査を項目に加えるには課題が多く難しいが、胃がんの早期発見推進のため、令和6年度から胃内視鏡検査を実施する。50歳以上で実施年度に偶数年齢となる方を対象とする。

ピロリ菌

集団健診の検査項目に

慎重に検討していく

問 千曲医師会のパンフレットには「千曲市・坂城町の中高校生は4千人の友達がいいます。そのうち、約200人がピロリ菌に感染していて、そのうちの15%の約30人が大人になって胃がんにかかり、そのうちの12人が胃がんを命を落とす」と書かれている。小中学生のうちに集団健診を行うべきであるが、町の考えは。

保健センター所長 松本市は平成30年から中学2年生を対象にピロリ菌検査を行っている。一次検査は血清抗体検査である。実際には陰性であるのに、かなりの方が陽性と判定されてしまう。そのようなことから、今後国・県等の動向を見極めながら小中学生の集団健診は、慎重に検討する。

千曲医師会より中学生・高校生の皆さまへ

皆さん、胃がんという病気を知っていますか。とても怖い病気の一つです。

胃がんの原因の主な原因は

千曲市・坂城町の中高校生約4,000人のうち約200人がピロリ菌に感染している可能性が...?

